

富山県下新川郡 朝日町教育委員会

町独自の部活動コミュニティクラブを設立し、休日1日+平日2日の部活動を地域に移行

朝日町型部活動コミュニティクラブの運営体制



▲教育委員会が部活動コミュニティクラブ実行委員会の事務局となり、会合を年2～3回開催。ほかに、中学校顧問教員と地域クラブ指導者との連携会議を月1回行い、指導内容を共有するとともに、生徒の安全の確保に努めている。

▶部活動コミュニティクラブの活動は、中学校に隣接する町の施設を使用。学校施設を使わないことで、教員が放課後や休日に学校施設の鍵や道具の管理をしなくて済むようにした。また、地域クラブ指導者による専門的な指導について、9割近い生徒が「体力・技術の向上につながっている」と回答した*1。



富山県朝日町立朝日中学校では以前から、退職教員や競技協会員などがボランティアで部活動の指導をサポートしてきた。しかし、地域指導者の高齢化や教員の多忙化などにより、地域として、持続可能な部活動と教員の負担軽減を実現する仕組みをつくるため、「朝日町型部活動コミュニティクラブ」を設立。運動部では9種目中7種目で、文化部では吹奏楽部で、休日1日と平日1～2日を同クラブに移行した。朝日町教育委員会（以下、町教委）スポーツ係の若林仁美係長は、設立の経緯をこう説明する。

「朝日町には、総合型地域スポーツクラブなどによる受け皿がなかったため、2020年7月に町教委内に検討委員会を立ち上げ、同年度末には保護者への説明会を行って、2021年4月に町独自のコミュニティクラブを発足させました」

同クラブの運営方針は、体育協会や有識者など、総勢26人から成る実行委員会で決定。事務局は町教委スポーツ係

の2人が担い、会合を年2～3回開く。加えて、中学校の顧問教員・地域のクラブ指導者・教育委員会は、連携会議やオンライン会議ツールなどを利用して連携を図る。同町が画期的なのは、運動部だけでなく、吹奏楽部も移行させた点だ。

「吹奏楽部は、以前から指導していただいている打楽器と管楽器の専門家に依頼しました。指導者が顔見知りのため、生徒は移行をごく自然に受け入れています」（若林係長）

指導者に順守してほしいことは「活動運営方針」で明示した。例えば、勝利至上主義に陥らず、生徒の人間性の育成が部活動の趣旨であることなどだ。

「学校で行う部活動の教育的価値も踏まえ、全日移行する予定は現段階ではありません。昨年度末の調査では、8割近い教員が『時間外勤務が減った』と回答しました*2。今後は、指導者への研修や、運動部の残り2種目の移行などを行い、本クラブの体制強化を図っていきます」（若林係長）

*1 2022年2月実施の「第2回アンケート調査」より。「部活動コミュニティクラブの活動が体力・技術の向上につながっていると感じますか」との設問に、「とても感じる(53%) + 「やや感じる(34%)」と回答した合計。 *2 *1と同じ調査結果より。「減った(39%)」+「やや減った(38%)」と回答した合計。

部活動の活動例

◎日程 平日：学校2日、地域クラブ2日（1日2時間程度）、休日：地域クラブ1日（3時間程度）

◎休養日 平日1日、休日1日

■ 学校管理 ■ クラブ指導者の管理

◎活動日例

	日	月	火	水	木	金	土
2020年度まで	休養日	学校部活動	休養日	学校部活動	学校部活動	学校部活動	学校部活動
2021年度から	休養日	地域クラブ活動	休養日	地域クラブ活動	学校部活動	学校部活動	地域クラブ活動

▲バスケットボール・陸上競技・柔道・剣道・卓球・ソフトテニス・バレーボール・吹奏楽部の活動の一部を、部活動コミュニティクラブへ移行。うち4つの部活動は、平日2日と休日1日の週3日を部活動コミュニティクラブに移行した。

朝日町教育委員会
事務局長代理
スポーツ係長
若林仁美
わかばやし・ひとみ

朝日町概要

人口 約1万1,000人 面積 226.30km²
 公立学校数 小学校2校、中学校1校
 児童生徒数 小学校364人、中学校220人
 教員数 小学校37人、中学校23人
 部活動コミュニティクラブ実行委員会事務局 2人

Web VIEWnext ONLINE

朝日町型部活動コミュニティクラブの活動費用等の詳細をウェブサイトで紹介！右記の2次元コードからアクセスできます。

